

(仮称) 町田市下水道事業経営戦略策定の中間報告について (その2)

1 今後10ヵ年の事業計画 (経営戦略 第6章)

町田市下水道ビジョンで掲げた3つの基本方針(「環境に配慮した施設整備・より良い環境づくりの推進」「災害に強いまちづくりの推進・安心な暮らしの構築」「経営の効率化及び健全化・より良い下水道サービスの導入」)の実現に向けて、実行計画である「町田市下水道アクションプラン」により事業を進めてまいりました。

公営企業として下水道事業を持続させていくため、中長期的な経営の基本計画である「(仮称)町田市下水道事業経営戦略」を策定し、「町田市下水道アクションプラン(2017年度～2021年度)」の事業計画を継承しつつ、今後10年の計画的な施策の展開、徹底した効率化、経営健全化を行ってまいります。

引継事業一覧

【町田市下水道アクションプラン(2017年度～2021年度):第2章 事業計画】

⇒ 【(仮称)町田市下水道事業経営戦略:第6章 今後10ヵ年の事業計画】

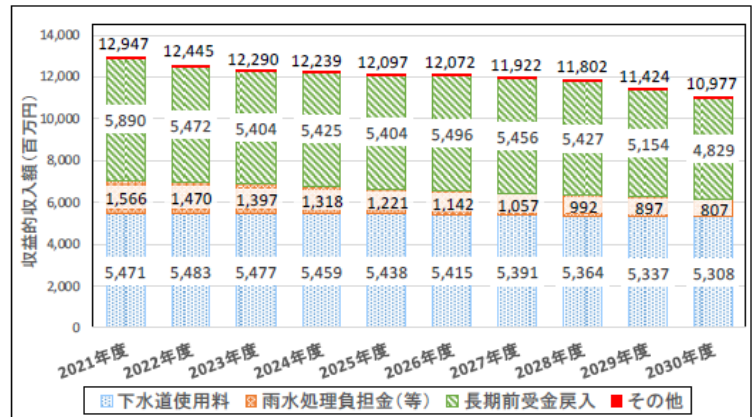
基本理念	基本方針	小施策	事業	基本方針	小施策	事業			
次世代につなげる良好な水環境を目指して	環境に配慮した施設整備を行い、より良い環境づくりを	汚水管と合併処理浄化槽を併用した汚水処理の推進	1.市街化区域の未整備地区の汚水管整備 2.市街化調整区域の汚水管整備と合併処理浄化槽への切り替え促進を併用した汚水処理の推進 3.未接続家屋への汚水管接続の指導	より良い環境に配慮した施設整備の推進・	(1) 住環境の改善	①汚水管整備事業 ②未接続家屋への汚水管接続の指導 ③下水道の正しい使い方指導(グリーストラップ等)			
		下水道の適正利用の促進	4.下水道の正しい使い方指導(グリーストラップ等) 5.事業場への排水規制に関する指導 ⇒ 第5章 効率化・経営健全化の取組み		(2) 河川の水質向上への貢献	高効率散気装置の導入			
		下水処理水の品質向上	6.下水処理場の既存施設の段階的高度処理化 7.鶴見川クリーンセンターに増設する施設の高度処理化		(3) 地球温暖化対策と資源の循環利用	①温室効果ガスの削減 ②エネルギー・資源の有効利用			
		水路等の維持管理の推進	8.水路等の維持管理の推進水路等の適正な維持管理の実施 ⇒ 関連の下水道部所管の一般会計事業		関連の下水道部所管の一般会計事業	合併処理浄化槽への切り替え促進 水路等の維持管理の推進 浄化槽の適切な維持管理指導			
		市民等利用者への働きかけ	9.浄化槽の適切な維持管理指導 ⇒ 関連の下水道部所管の一般会計事業		(1) 淡水対策の促進	①浸水対策事業 ②下水道事業継続計画(水害編)の運用管理及び訓練の実施			
		温室効果ガスの削減	10.運転の効率化による消費電力や燃料の低減 11.二酸化炭素削減の取り組み		(2) 耐震対策の推進	①成瀬クリーンセンターの耐震化 ②鶴見川クリーンセンター・鶴見川ポンプ場の耐震化 ③汚水管の耐震化 ④雨水管の耐震化 ⑤避難施設へのマンホールトイレの整備 ⑥下水道事業継続計画(地震編)の運用管理及び訓練の実施			
		エネルギー・資源の有効利用	12.未利用エネルギーの活用 13.建設発生残土等の建設副産物の有効利用 14.資源の有効利用		関連の下水道部所管の一般会計事業	雨水浸透設備設置事業補助金制度 自助を啓発する広報や情報提供の充実 豪雨前のパトロールの実施 調整池の維持管理			
		暮らしに強いまちづくりを進め、安心な	ハード対策の促進		15.浸水履歴を考慮した雨水管整備	16.民間による雨水貯留・浸透施設の整備促進 ⇒ 関連の下水道部所管の一般会計事業	サ化経費の活用による下水道の改善及び水環境の向上	(1) 効率的・効果的な維持管理の推進	①状態監視保全の維持管理 ②腐食環境下にある下水道管の点検の実施 ③汚水管への浸水対策
					17.河川管理者・流域自治体との連携・協力 ⇒ 関連の下水道部所管の一般会計事業	計画的な改築更新の推進		(2) 計画的な改築更新	①下水処理場・ポンプ場の改築更新 ②管渠の改築更新
					18.水害時対応マニュアルによる訓練の実施			25.ストックマネジメント手法を取り入れた下水処理場・ポンプ場の点検・調査の実施	
					19.自助を啓発する広報や情報提供の充実 ⇒ 関連の下水道部所管の一般会計事業			26.ストックマネジメント手法を取り入れた下水道管の点検・調査の実施	
					20.豪雨前のパトロールの実施 ⇒ 関連の下水道部所管の一般会計事業			27.腐食環境下にある下水道管の点検の実施	
			21.成瀬クリーンセンターの耐震化		28.汚水管への浸水対策の実施				
			防災対策の推進		22.重要な幹線等の耐震化	29.ストックマネジメント計画による下水処理場・ポンプ場の改築更新		30.ストックマネジメント計画による下水道管の改築更新	
	減災対策の推進			23.避難施設へのマンホールトイレの整備	31.経営戦略の策定 ⇒ 第9章 経営戦略の進捗管理				
				24.下水道事業継続計画の運用管理及び訓練の実施	32.技術の継承と職員の人材育成によるサービスの向上 ⇒ 第5章 効率化・経営健全化の取組み				
				25.ストックマネジメント手法を取り入れた下水処理場・ポンプ場の点検・調査の実施	33.下水道事業のPRの充実 ⇒ 第5章 効率化・経営健全化の取組み				
	す良率的で健全な経営に取り組む	26.ストックマネジメント手法を取り入れた下水道管の点検・調査の実施							
		27.腐食環境下にある下水道管の点検の実施							
		28.汚水管への浸水対策の実施							

※ 「町田市下水道アクションプラン(2017年度～2021年度)」の事業計画の一部事業は、「(仮称)町田市下水道事業経営戦略」の「第5章 効率化・経営健全化の取組み」「第9章 経営戦略の進捗管理」へ継承しています。

## 2 今後10ヵ年の収支計画（経営戦略 第8章）

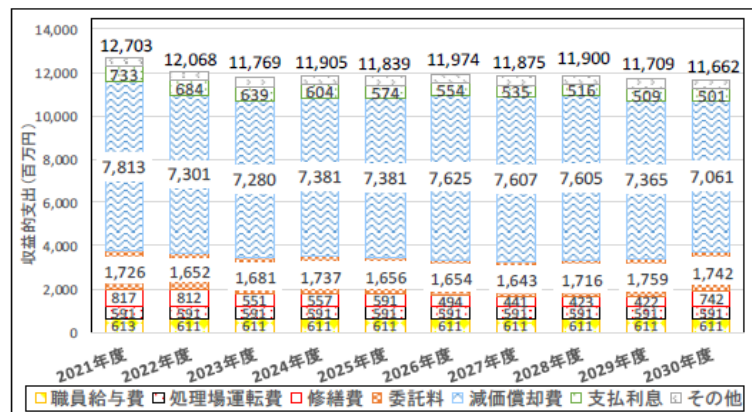
### ① 収益的収入

…人口減少に伴い、下水道使用料収入は、減少する見込みです。



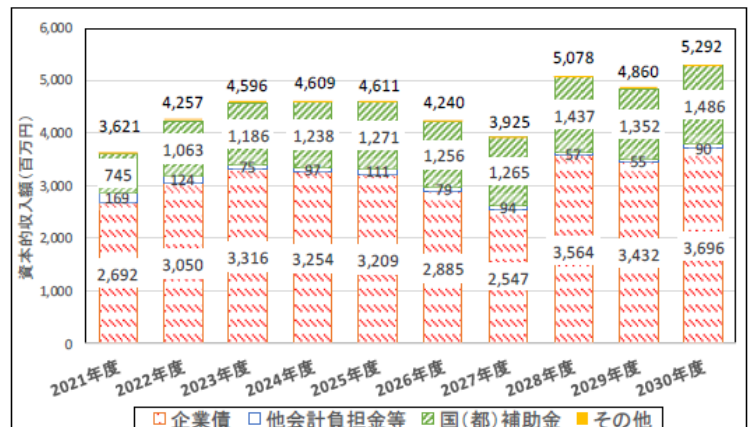
### ② 収益的支出

…下水道施設を適切に維持管理するための委託料や修繕費、処理場運転費などの固定的な費用が毎年約3.5億円必要になる見込みです。



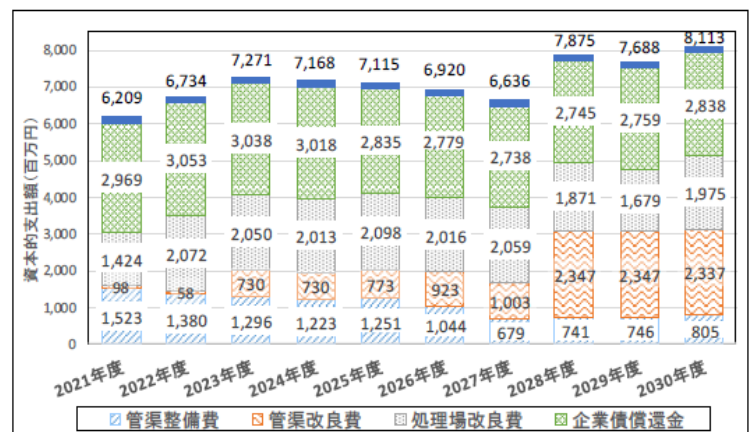
### ③ 資本的収入

…下水道施設の改良工事の進捗に伴い、企業債の収入額が増加する見込みです。



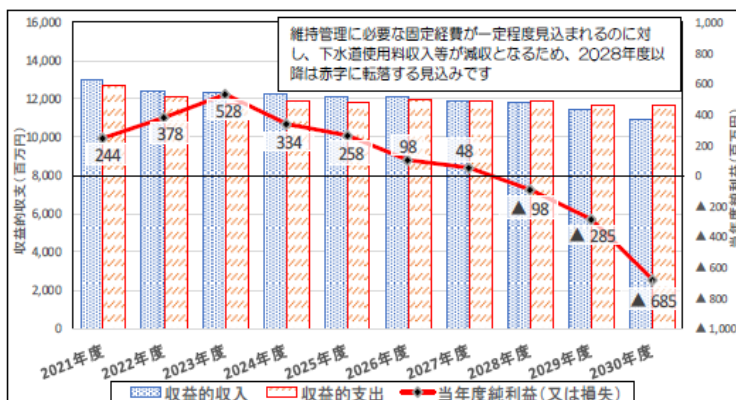
### ④ 資本的支出

…下水道施設の改築更新事業が本格化するため、事業費は、増加する見込みです。



⑤ 当年度純利益

…維持管理に必要な固定経費が一定程度見込まれるのに対し、下水道使用料収入等が減収するため、2028年度以降純利益は赤字となる見込みです。



3 経営戦略の進捗管理（経営戦略 第9章）

将来的な事業環境・事業展開を予測した上で策定しているため、毎年度「投資財政計画の実施・進捗に関する測定」（モニタリング）を行い、「PDCAサイクル」の手法を用いて事業の分析・把握するとともに、「実状を勘案した見直し」（ローリング）を行って行きます。



図9-1 PDCAサイクルのイメージ図

#### 4 経過と今後の予定

2020年 7月 7日 第1回下水道事業審議会  
・「(仮称) 町田市下水道事業経営戦略」の策定について諮問  
・第1～4章 町田市下水道事業の置かれている現状と課題について

2020年 8月21日 第2回下水道事業審議会  
・第5～7章 現状と課題を受け、今後10ヵ年において取り組む事業内容と財源試算について

2020年 9月28日 第3回下水道事業審議会  
・第8～9章 今後10ヵ年の投資財政計画をもとに収支差額の把握と対応及び経営戦略の進捗管理について

##### <今後の予定>

2020年12月18日 第4回下水道事業審議会  
・第1章～第9章 全体を通して

2021年 2月 第5回下水道事業審議会  
・答申「(仮称) 町田市下水道事業経営戦略」について

2021年 3月 「(仮称) 町田市下水道事業経営戦略」の策定